

M's CORTE

エムズコルテ

10.1インチポータブル
ブルーレイディスク™/DVDプレーヤー

MPB-CW1012
取扱説明書

目次

使用上の注意	2～3
ディスクについて	4～5
製品内容	6
各部の名称	6～7

準備する

リモコンを使う	7
リモコンの機能一覧	8
本体起動方法、充電する	9
液晶パネルの回転、車載ベルトを使う	10

ディスクを見る

ディスクを再生する	11
基本操作、ディスクメッセージ	11
ボタン操作について	
方向/決定、再生/一時停止、停止、前/次へ、早送り/早戻し、スロー	12
数字、メニュー、タイトル/ポップアップ、BD/ビデオ入力切替	13
メディアセンター、音量+/-、消音、設定	13
リピート、A-Bリピート、黄(ズーム)	14
表示、字幕、音声	15
赤(プログラム)、サーチ、画面オン/オフ	16
便利な再生機能	
ブックマーク機能	17
OSC(オンスクリーンコントロール)機能	18
メディアセンター、再生ファイルの種類	19
設定画面を使う	
設定画面の基本操作方法	20
基本設定	
システム、言語設定	20
再生設定、安全設定	21
映像設定	
画面調整	22～23
映像処理	23
音声設定	
音声出力	24
システム情報	24

外部端子

イヤホン(別売)を使用する、外部機器(AVケーブル)を接続する	25
外部機器(HDMI出力)を接続する	26
外部機器(USB)を接続する、外部機器(SD/MMCスロット)を接続する	27

その他











主な仕様	28
故障かな?と思ったら、お手入れについて	29








使用上の注意 正しく安全にご使用いただくために必ずお読みください







警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると人が損害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。








■本体、電源アダプタ(ACアダプタ、シガーソケットアダプタ)について

 警告	 <small>コンセントを抜く</small>	火災・感電の原因となりますので、本体やACアダプタが異常なとき(煙が出ている、異常に熱い、変なにおいがする)は、ただちにご使用をやめて、ACアダプタをコンセントから抜いてください。
	 <small>分解禁止</small>	火災や感電の原因となりますので、絶対に分解や改造等を行わないでください。
	 <small>禁止</small>	火災や感電の原因となりますので、本体内部に水や異物が入ったときは、ただちにご使用を中止し、ACアダプタをコンセントから抜いてください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
	 <small>コンセントに挿す</small>	火災や感電の原因となりますので、電源プラグはコンセントの根元までしっかり差し込んでください。また、電源プラグに濡れた手で触れないでください。
	 <small>コンセントを抜く</small>	ケガや感電の原因となりますので、お手入れの際は必ずACアダプタを抜いてください。また、雷が鳴っているときは、本体、ACアダプタに触れないでください。落雷すると、感電する恐れがあります。
	 <small>コンセントを抜く</small>	火災や感電の原因となりますので、本製品が破損した場合は、そのままご使用にならず、ACアダプタをコンセントから抜いてください。
	 <small>注意</small>	本製品を指定された、電源電圧以外でご使用にならないでください。指定以外の電源電圧で使用すると、火災、感電、故障の原因になります。
	 <small>禁止</small>	本製品を水で濡らしたり、水滴のかかる場所に置かないでください。海岸や川岸などの水辺や雨天、降雪時の窓辺でのご使用や設置にはご注意ください。また、風呂場や厨房、サウナなど高温多湿な場所ではご使用にならないでください。内部に水が入ると火災、感電、故障の原因になります。
	 <small>注意 車での使用時</small>	付属のシガーソケットアダプタは12V車専用です。12V以外のシガーソケットに使用しないでください。エンジン始動前、始動時は接続をせず、必ずエンジン始動後に接続してご使用ください。一時的に高電圧や大電流(サージ電流)を発生する為、発火や故障の原因となります。また本体が異常な時(発煙、熱い、匂いがする)は、シガーソケットの接続を切り離して下さい。

 注意	 <small>禁止</small>	本体を傾いた場所や不安定な場所に設置しないでください。本体が落下して、破損やケガをする原因になります。
	 <small>禁止</small>	本体の内部に異物を入れないでください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。また、本製品を乳幼児には触れさせないでください。故障や火災、感電の原因になります。
	 <small>禁止</small>	本体を持ち運ぶときは、過度の衝撃や振動を与えないでください。故障や破損の原因になります。
	 <small>禁止</small>	ACアダプタを傷つけたり、破損、切断、加工をしないでください。また、ACアダプタを束ねたり、延長、固定、タコ足配線で使用しないでください。発熱などにより、火災、故障の原因になります。ACアダプタが傷ついている場合は、ただちにご使用をやめてください。火災や感電の原因になります。
	 <small>コンセントを抜く</small>	本製品を移動させるときは、ディスクを取り出し、ACアダプタをコンセントから抜いてください。また、長期の外出をするときや長期間ご使用にならないときは、安全のため、必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。火災などの原因となります。
	 <small>注意</small>	リモコンの電池は極性の向きを正しく入れてください。誤って入れると、破裂、液漏れの原因になります。また、電池を加熱、分解すると破裂する危険があります。

注意		通電中の本機や ACアダプタに長時間触れないでください。長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。
		本機や ACアダプタを、布や布団などでおおった状態で使用しないでください。熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。
		本体内部の部品をさわらないでください。けがの原因になることもあります。また、高温になった部品にさわると、やけどの原因となることがあります。ケースなどの外装部品が破損しても本体内部の部品には触れないでください。高電圧部品により感電することがあります。
		分解や改造をしないでください。火災や感電の原因となります。点検や修理は、お買い上げ店、または弊社サポートセンターにご依頼ください。
		本製品の通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所に設置しないでください。閉めきった車内や、直射日光の当たるところに設置、放置しないでください。本体内部が高温になり故障の原因となります。
		走行中、運転されている方は危険ですので、絶対に本製品の操作等をしないでください。

■ 内蔵バッテリーについて

 注意	
	本体内部には、バッテリーが内蔵されています。バッテリーは、高温環境に弱いので、炎天下の車内等の高い温度環境で放置すると故障や不具合の原因となります。
	本体内部には、バッテリーが内蔵されています。また防水加工もされておられません。分解や水等の液体を入れる等は危険ですので行わないでください。火災、感電、故障の原因となります。
	AC アダプタを製品に接続したままの状態で使用しないでください。 断続的にACアダプタを製品に接続したままの状態では、バッテリーの満充電が繰り返され、過充電状態となる恐れがあります。リチウムイオンバッテリー内蔵プレーヤーの長時間にわたる連続使用は、過負荷による故障の原因となり、火災や感電の危険があります。本製品の背面にはバッテリー充電スイッチがありますので、使用用途にあわせてご使用ください。業務用途など、ACアダプタを接続したままご使用する場合、必ず背面のバッテリー充電スイッチをOFFにしてください。プレーヤーをご使用にならない時は必ずACアダプタを抜いて保管してください。
	バッテリー残量が空の状態でご保管しないでください。 リチウムイオンバッテリー内蔵プレーヤーを、長期間にわたって使用しないなど、バッテリー残量が空の状態でご保管すると、バッテリーからの自然放電が続くことにより過放電状態となる恐れがあります。バッテリー充電スイッチの状態にもよりますが、約3ヶ月間隔で充電する事をお奨めします。
	過充電や過放電はバッテリーの劣化を早めます。 バッテリーは過充電や過放電により劣化します。通常は制御回路や保護回路によって過充電や過放電を回避していますが、過充電や過放電が長期にわたって繰り返されることにより、劣化が促進します。劣化により充放電量が少なくなったバッテリーは利用時間が短くなるなど、性能が低下しバッテリーとして機能しなくなる場合があります。また劣化などにより不安定な状態になります。
	本体・バッテリー・ACアダプタから発煙・異臭などの異常が発生したり、破損した場合。 使用中（充電中含む）であれば、ACアダプタを家庭用交流 100V コンセントから抜いて本体の電源をオフにしてください。直ちに使用中止して、弊社サポートセンターにご連絡ください。

ディスクについて

●再生できるディスク

ディスクの種類

- 市販/レンタルディスク
- ブルーレイディスク
- DVD-VIDEO
- ビデオCD/音楽用CD
- 記録ディスク
- BD-R/RE
- DVD-R/-RW(ファイナライズ済ディスク)
- CD-R/-RW
- DVD-R/+RW(ファイナライズ済ディスク)

●ブルーレイディスク/DVD/CDについてのご注意

本機は以下のフォーマットで記録したCD-ROM/CD-R/CD-RWを再生できます。

- 音楽用フォーマット
- ビデオCDフォーマット
- MP3音声トラック
- JPEG画像ファイル

本機は以下のフォーマットで記録したDVD-ROM/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW/BD-R/BD-REを再生できます。

- BD-MV
- BD-AV
- AVCHD
- AVCREC
- DVD-VIDEO
- DVD-VR
- JPEG
- MP3
- MPEG2
- MPEG4

本機は録画したデジタル放送の番組を再生できる、AACs、CPRM*に対応しています。

- ブルーレイディスクに著作権保護されたコンテンツを再生するために著作権保護技術「AACs」を採用しています。
- DVDに記録した地上デジタル放送やBSデジタル放送は、著作権保護のためCPRM対応プレーヤーでなければ再生できません。

★CPRM(Content Protection for Recordable Media)とは、録画回数に制限がある番組に対する著作権保護技術です。

●再生できないディスクについて

本機では以下のディスクなどを再生することはできません。

- HD DVD
- DVD-RAM/DVD+R DL/DVD-R DL
- フォトCDフォーマットで記録したCD-ROM
- CD-EXTRAのデータ部分
- DVDオーディオ
- MP3/JPEG画像を含まないデータDVDおよびデータCD
- スーパーオーディオCDのHD(ハイデンシティ)レイヤー
- このページで記載のフォーマット以外で記録したCD-ROM/CD-R/CD-RW

次のようなディスクも再生できません。

- 本機では再生できないリージョンコード(地域番号)の市販のDVD
- 円形以外の特殊な形状(カード型・ハート型など)をしたディスク
- 紙やシールの貼られたディスク
- ゼロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出たり、はがした跡のあるディスク
- 傷の多いディスク

●再生時のご注意

記録済みのCD-R/+RW・DVD-R/-RW・DVD+R/+RWは、傷や汚れ、また記録状態や記録機器、CD/DVD書き込みソフトの特性が原因で再生できないものがあります。

データ再生に関しては、エンコード方法などによって再生できないものもあります。

記録型DVDの記録終了時に終了情報を記録する「ファイナライズ」作業を行っていないディスクは再生できません。(詳しくはレコーダー等の取扱説明書をお読みください)

記録型メディアによっては、適切にファイナライズ作業が行われていても本機のいくつかの再生機能が使えなかったり、ディスクが正常に再生できない場合があります。また、バケットライト方式およびマルチセッションで作成されたデータCD/データDVDには、再生できないものがあります。

本製品はコンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として設計されています。いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものがあり、本製品では再生できない場合があります。

DVD規格に準拠した面と、音楽専用面を組み合わせたDual Discの音楽専用面は、コンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

DVDハイブリッドディスクは、記録方式が従来のDVD規格とは異なるため、本製品での再生は保証いたしません。

● ブルーレイディスク・DVD・ビデオCD再生時の操作について

ブルーレイディスク・DVD・ビデオCDはソフト制作者の意図により再生状態があらかじめ決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容に従って再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属する取扱説明書も必ずご覧ください。

● リージョンコード(地域番号)について

リージョンコードは著作権保護を目的に設けられた制度です。市販のパッケージには、販売地域によって、リージョンコードが表示されています。

ブルーレイディスクには地域番号に「A」が含まれているときは、本機で再生可能です。

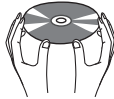


DVDディスクには地域番号に「2」が含まれているときは、本機で再生可能です。



● ディスクの取扱いについて

- 再生面に手を触れないように持ちます。



- 直射日光が当たるところなど、温度の高いところ、湿度の高いところには置かないでください。
- ケースに入れて保管してください。
- 指紋やほこりなどによるディスクの汚れは、映像・音声の乱れの原因となります。取扱いには十分ご注意ください。
- ディスクのお手入れは、ディスクの取扱説明書等をご覧ください。
- ディスクを絶対に曲げないでください。破損や変形の原因となり、再生できなくなる場合があります。

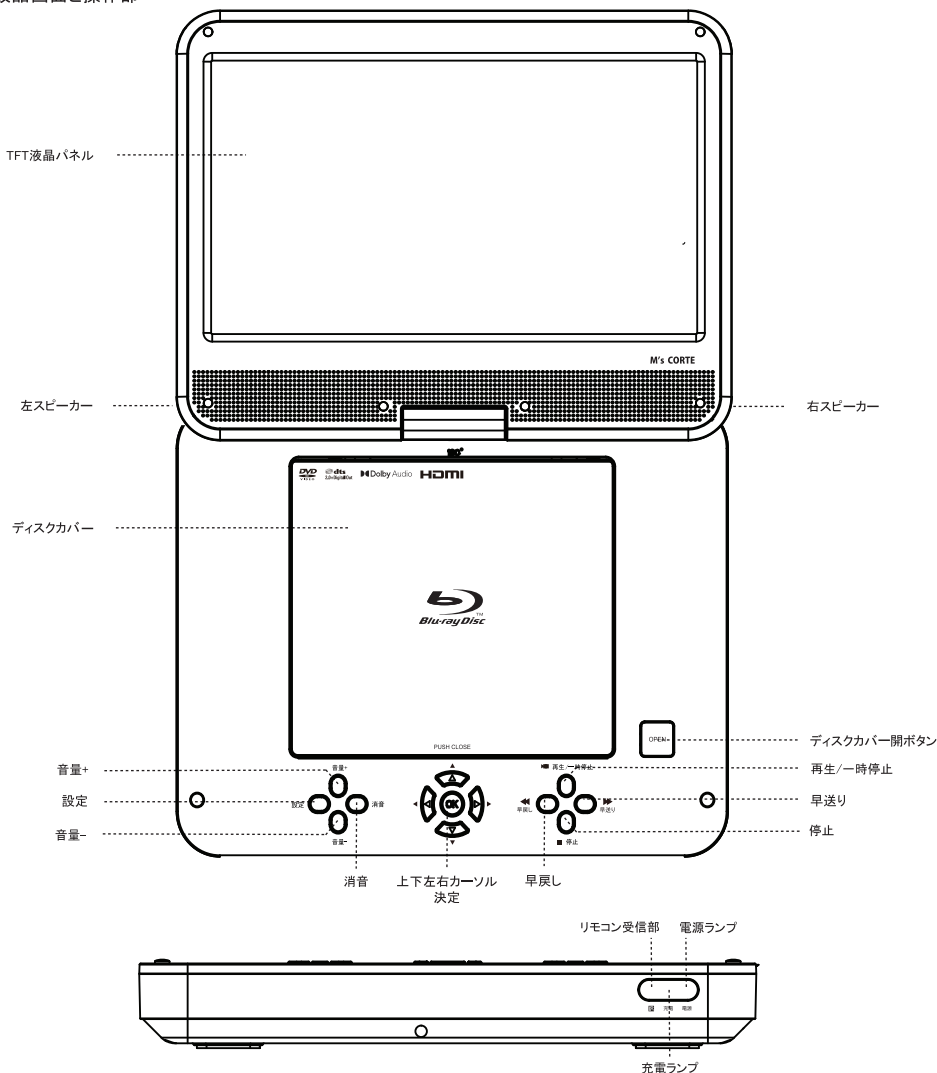


製品内容

- ・ブルーレイプレーヤー本体
- ・AC電源アダプタ
- ・リモコン
- ・シガーソケットアダプタ
- ・車載ベルト (2本)
- ・Type-Cケーブル
- ・単四電池 2本 (試供品)
- ・取扱説明書／保証書 (本書)

各部の名称

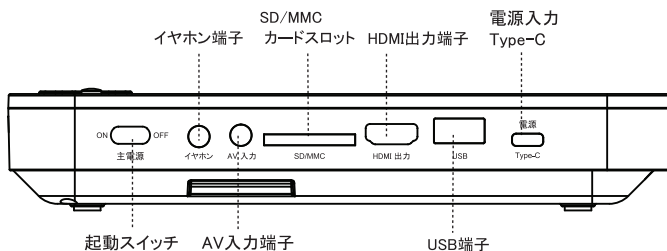
●液晶画面と操作部



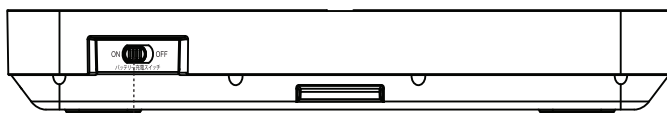
※操作ボタンの各機能は、ボタン操作について(P12~16)を参照下さい

各部の名称

●側面



●背面



バッテリー充電スイッチ
内蔵バッテリーに対して充電動作を設定をします。
ON…充電する。
OFF…充電しない。

●バッテリー充電スイッチについて ※ご使用いただく前に必ずお読みください。

■ご注意ください

- 工場出荷時はOFFになっているので、バッテリーを充電する際はONにしてください。
- 業務用途などACアダプタを接続したままご使用する場合、必ずバッテリー充電スイッチをOFFにしてください。

準備する

リモコンを使う



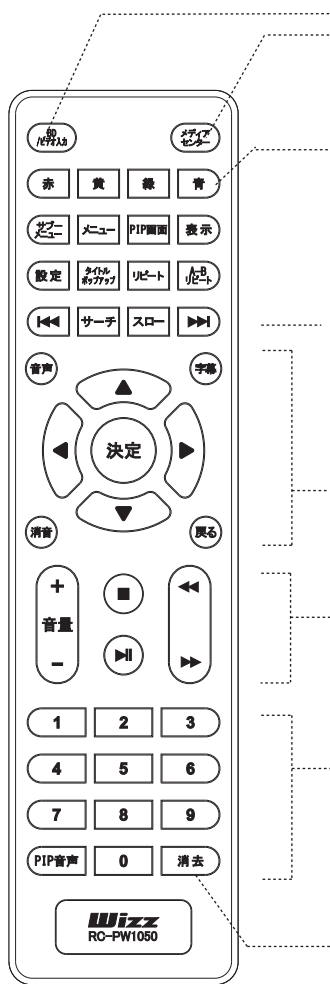
(単四形乾電池2本)

リモコン裏面のカバーを開けて、単四形乾電池2本を左図のとおりに入れ、カバーを閉めます。

■ご注意ください

- リモコンを使用する場合は、本体の受光部に向けて操作してください。
- 使用範囲は本体受光部正面から約5m、左右各30度以内で使用してください。
※操作可能範囲は使用状況により変わります。
- 本体受信部に直射日光や強い照明が当たった場合、受光部が破損し、受信できなくなる恐れがありますので、ご注意ください。
- リモコンを投げ、落とすなど過度の衝撃を与えないでください。
- リモコンを水に濡らしたり、湿度の高いところでは、使用、保管をしないでください。
- 乾電池を入れ替えたときに、リモコンが正しく動作しないときがあります。
このようなときは、乾電池を一度取り出し、5分以上経ってから再度入れ直してください。
- リモコンを分解、改造、修理をしないでください。また他の機器には使用しないでください。
- 付属の電池は試供品ですので、出来るだけ早く新しい電池に交換してください。

リモコンの機能一覧



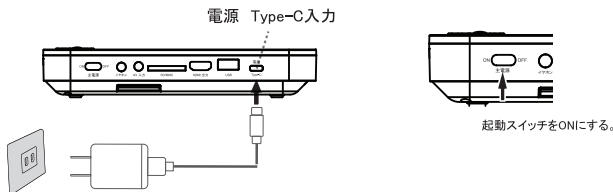
ブルーレイ(再生状態)/ビデオ入力「モ_ド切替」
メディアセンター「ディスク/SD/USB メディア切替」

赤 プログラム	黄 ズーム	緑 ブック マーク1	青 ブック マーク2	
赤、黄、緑、青ボタン 赤ボタン(プログラム) 黄ボタン(ズーム) 緑ボタン(ブックマーク1) 青ボタン(ブックマーク2)	画面上の指示に応じて使えます :プログラム再生します :画面を拡大 縮小します :ブックマークを設定します :設定したブックマークを表示します			
サブメニュー メニュー PIP画面 表示	:OSC(オンスクリーンコントロール)機能を使用します :ディスクのメニュー画面が表示されます :ピクチャインピクチャーを表示します :再生中のディスク情報を画面上部に表示します			
設定 タイトルポップアップ リピート A-Bリピート	:設定の確認や各種設定を変更することができます :タイトルメニューやポップアップメニューを表示します :繰り返し再生することができます :設定範囲を繰り返し再生することができます			
◀ 前へ サーチ スロー ▶ 次へ	:前のチャプターやトラックへ移動します :ディスク再生中ご覧になりたい位置から再生できません :スロー再生することができます :次のチャプターやトラックへ移動します			
音声 字幕 決定 ▲▼◀▶	:音声やサウンドトラックを切り替えることができます :字幕の選択をすることができます :操作や設定を決定します :上、下、左、右カーソルを移動することができます :音声を消すことができます :もとの設定や画面に戻ることができます			
音量 [+] 音量 -	:音量を調整することができます :再生している状態から停止状態にすることができます :再生開始と一時停止をすることができます :早戻し再生をすることができます :早送り再生をすることができます			
1 2 3 4 5 6 7 8 9 PIP音声 0 消去	数字入力ボタン			
PIP音声 消去	:ピクチャインピクチャーの音声を切替えます :入力項目を消去します			

本体起動方法

●ACアダプタを使用する場合

付属のType-Cケーブルを本体Type-C入力とACアダプタに接続します。
ACアダプタをコンセントに差し込み、起動スイッチをONにすると、本体が起動します。

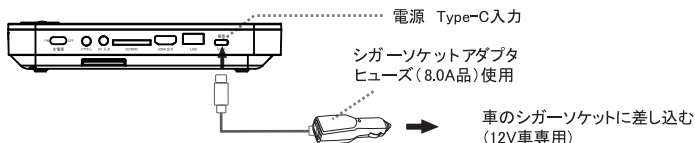


■ご注意ください

- ・付属のType-Cケーブルをご使用ください。20W専用のケーブルとなります。
- ・使用しない時、お手入れや点検を行うときは電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・本体とACアダプタの端子に過度の衝撃を加えると、破損する可能性があります。

●シガーソケットアダプタを使用する場合

付属のType-Cケーブルを本体Type-C入力とシガーソケットアダプタに接続します。
シガーソケットアダプタを車のシガーソケットに差し込み、起動スイッチをONにすると本体が起動します。

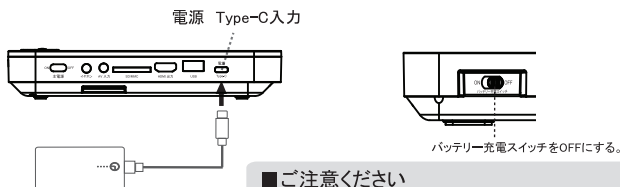


■ご注意ください

- ・付属のシガーソケットアダプタをご使用ください。
- ・本製品を運転中に使用しないでください。事故の原因となります。
- ・車内に本体やアダプタを放置しないでください。特に高温になると内蔵バッテリーの状態に影響します。
- ・エンジン始動後に、シガーソケットアダプタを接続してください。
- ・本機は24V車には対応していません。故障となりますので12V車でご使用ください。

●モバイルバッテリー(別売)を使用する場合

本体背面のバッテリー充電スイッチをOFFにします。付属のType-Cケーブルを本体Type-C入力とモバイルバッテリーに接続して、起動スイッチをONにすると本体が起動します。



■ご注意ください

- ・モバイルバッテリーはPowerDelivery18W対応以上のもをご使用ください。

充電する

1. バッテリー充電スイッチをONにして本体のType-C入力端子とACアダプタにType-Cケーブルを差し込み、ACアダプタをコンセントに差し込みます。
充電中…充電ランプ赤色点灯 電源ON…電源ランプ青色点灯
充電完了…充電ランプ赤色消灯 電源OFF…電源ランプ青色消灯
 2. バッテリーの状態にもよりますが、充電時間は電源OFFの状態でも4時間、電源ONの状態でも8～10時間で完了します。
 3. バッテリー 充電スイッチをOFFにするとバッテリーに充電されないため、充電ランプは消灯となります。
- ※ バッテリーの容量が低下すると充電ランプが減滅します。その場合はできるだけ早く、充電を行うようにしてください。
- ※ バッテリー充電スイッチをOFFにするとACアダプタを接続してもバッテリーへの充電は行われません。
過充電防止のために、ACアダプタを接続したままご利用の場合はバッテリー充電スイッチをOFFしてください。

液晶パネルの回転

液晶画面は開いた状態で、時計回り(右方向)に180度回転します。
回転させる際は、液晶画面の縁と本体部分をしっかり持って丁寧にゆっくり回転させてください。

■ご注意ください

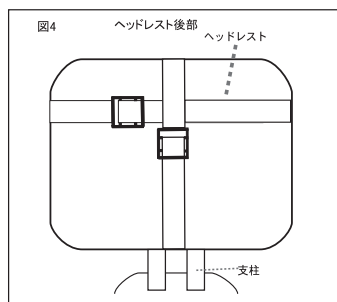
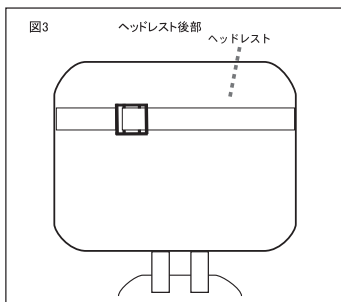
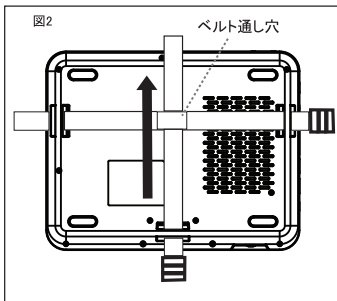
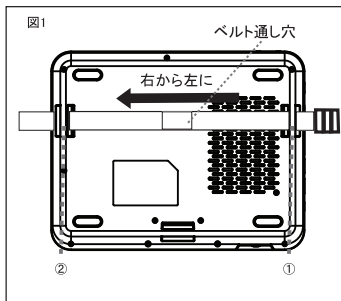
・液晶パネルを回転させるときにパネル部に触れないようにご注意ください。また、必要以上の力で回転させたり無理にパネル関節部を折り曲げると破損の原因となりますのでご注意ください。

※液晶パネルは、時計回りに180度以上回転しません。無理に力を入れ回転させようとする本体が破損し、感電やケガをするおそれがありますので、回転させる際は、丁寧にゆっくりと行ってください。

車載用ベルトを使う

車載用ベルト2本を使って自動車のヘッドレストに装着することができます。

1. 本体の液晶パネルを時計回りにゆっくり180度回転させます。
2. 図1を参考に通し穴のついたベルトを右から左に通します。
3. 図2を参考に下から上にベルトを通します。その際に横のベルトの通し穴に通してください。
4. 図3の様に、横のベルトでヘッドレストに固定します。
5. 図4の様に、縦のベルトでヘッドレストに固定して完成です。
6. ベルトをヘッドレストに合わせて、ゆるみがないように調整しながらしっかり固定してください。



■ご注意ください

- ・ヘッドレストの形状によっては対応できない場合があります。
- ・車載専用DVDプレーヤーではありませんので、車内に放置したままにしないでください。
- ・エアバッグ動作の妨げになる場合、取り付けをしないでください。エアバッグそのものが動作しなかったり、エアバッグ動作時に本体が破損し、怪我などをするおそれがあります。
- ・車載用ベルトは時間の経過とともに少しずつベルトが緩む可能性があります。運転前に必ず車載用ベルトの取付状況をご確認して頂き、問題がある場合は、対応し、安全な状態で使用してください。

ディスクを見る

ディスクを再生する

●基本操作

- 1) 本体の電源を入れます。
- 2) 本体の“OPEN”ボタンを押して、ディスクカバーを開きます。
- 3) ディスクのラベル印刷面を上にして、ディスクホルダー中央部にディスクをやさしく入れ、この時“カチッ”という音がしたのを確認してください。
- 4) ディスクカバーを閉じます。
※ ディスク面が間違っていたり、トレーの凹みにきちんと置いていない場合は、“ディスク無し”と表示されます。
※ ディスクによっては、自動的に再生しないものや、メニュースクリーンが再生されないものがあります。
- 5) ブルーレイディスク・DVD-VIDEO・ビデオCD/音楽用CDには「決定」ボタン、または再生ボタン(▶)を押すと再生が始まります。
ディスクによっては自動的に再生が始まります。
画面にディスクメニューが表示された場合、リモコンの矢印キーで、お好みのメニューに合わせ、決定ボタンを押します。
- 6) BDAV・DVD-VR(MVR)・AVCHD・AVCREC・MP3・JPEG・MPEG4のフォーマットで記録したディスクを再生する時に、下記の画面が表示されます。本体、リモコンの矢印キーで、お好みのメニューに合わせ、決定ボタンを押すと再生が始まります。



ディスクのフォーマットより表示内容違います。

BDAV
DVD-VR(MVR表示)
AVCHD
AVCREC
メディアセンター (MP3、JPEG、MPEG4)

■ご注意ください

- Type-Cケーブルは、本体電源を切った状態で取り外してください。
- ディスク回転中に突然電源を切ると本体内部が破損する原因となりますので、十分ご注意ください。
- 操作中、“⊘”マークの表示が画面に出る場合は、本製品またはディスク側で操作が禁止されていることを意味します。
- ディスクの再生中にメニュー画面が表示されたり、操作内容が表示されたときは、表示の指示に従って操作してください。
- ディスクカバーを無理に開いたり、強い力で扱うと破損の原因となります。

●ディスクメッセージ

下記メッセージが画面上に表示された場合は、再生ディスクとフォーマット形式が異なることが予想されます。

- リージョンエラー
本機が再生できる地域(リージョン)であるBlu-rayの「A」、DVDの「2」と違うディスクを再生しようとした場合に表示されます。規定リージョンコード以外のディスクは再生できません。
- パスワード(暗証番号)入力画面
ディスクによっては視聴制限を設けているものがあります。
本機で視聴制限レベルを設定したとき、ディスクとの視聴制限レベルと合わない場合に表示されます。
設定した暗証番号(初期パスワードは「0000」です)を入力することによって、ロックが解除されます。

■ご注意ください

- ディスクによっては、再生中、操作制限があったり、再生できないディスクもあります。
- 記録条件により再生できない場合があり、全てのディスク再生に対応しておりません。
再生できるディスクについてはP.4をご確認ください。

ボタン操作について

●方向/決定ボタン



各操作や設定を上下左右カーソルで移動し、決定ボタンで操作や設定を決定します。

●再生/一時停止ボタン



ディスクの再生、場面や曲の一時停止に使用します。ディスク停止中にこのボタンを押すと再生を開始し、もう一度押すと一時停止します。一時停止中はディスクが回転しています。

●停止ボタン



停止ボタンを一度押すと、一時停止になります。二回押すと完全に停止します。レジューム機能を使用する場合は、停止ボタンで一時停止させ、電源を切ってください。

■ご注意ください

- ・レジューム機能が有効なのはDVD-Videoです。録画されたDVDやCDなどは対応しません。
- ・ディスクによっては、操作制限等があり、正常に動作しない場合があります。

●頭出し(次)/(前)ボタン (リモコンのみ)



次のチャプターやトラックへ移動します。



前のチャプターやトラックへ移動します。

■ご注意ください

- ・ディスクによっては操作制限があり、操作できない場合があります。
- ・シングルチャプター、シングルトラックのディスクは頭出し機能は使用できません。

●早送り/早戻しボタン



ディスクの再生中に、このボタンを押すと、下記の段階で早戻し再生します。

1段階 → 2段階 → 3段階 → 4段階 → 5段階 → 再生(等速)
↑

ディスクの再生中に、このボタンを押すと、下記の段階で早送り再生します。

1段階 → 2段階 → 3段階 → 4段階 → 5段階 → 再生(等速)

※通常の再生速度に戻す場合は、再生ボタンを押してください。

■ご注意ください

- ・ディスクによっては操作制限があり、操作できない場合があります。
- ・早送り、早戻し中は音声出力されません。

●スローボタン (リモコンのみ)



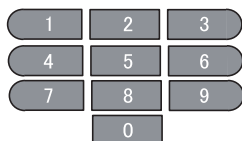
ディスクの再生中にこのボタンを押すごとに、下記の速度で再生されます。通常の再生速度に戻す場合は、再生ボタンを押してください。

【スロー】 1/16 → 1/8 → 1/4 → 1/2 → 再生
↑

■ご注意ください

- ・スロー再生中は、音声出力されません。

●数字入力ボタン（リモコンのみ）



チャプターやトラックなどをダイレクトに選択します。

●メニューボタン（リモコンのみ）



このボタンを押すと、ディスクのメニュー画面が表示されます。
ディスクによっては、この操作が制限されている場合があります。（VRモード使用不可）

●タイトル/ポップアップボタン（リモコンのみ）



このボタンを押すと、ディスクのタイトル画面が表示されます。
ディスクによっては、この操作が制限されている場合があります。（VRモード使用不可）

●BD/ビデオ入力切替ボタン（リモコンのみ）



ディスク再生モードと、ビデオ入力モードを切替ます。

●メディアセンターボタン（リモコンのみ）



再生するメディアを切り替えます。対応しないSDカード、USBメモリーはエラーとなります。

●音量+/- ボタン



音量を調整します。

●消音ボタン



音声を消します。もう一度押すと元の音量に戻ります。

●設定ボタン



このボタンを押すと、設定画面を表示します。
詳しくは、20～24 ページをご覧ください。

●リピートボタン（リモコンのみ）

リピート

特定のタイトル、チャプター、トラックを繰り返し再生することができます。

- 再生中（VRモード使用不可）
チャプター → タイトル → オール
- 音楽CD再生中
トラック → オール
- 音声ファイル再生中
シャッフル → ランダム → シングル再生 → シングルリピート → フォルダリピート
- 動画ファイル再生中
シングルリピート → オール

■ご注意ください

- ディスクによっては操作制限があり、この操作ができないものもあります。
- CDや音声、静止画は、記録状態によって、この操作ができない場合があります。

●A-Bリピートボタン（リモコンのみ）

A-B
リピート

設定範囲（AからBまで）を繰り返し視聴できます。

- 映像や音楽を再生中、繰り返し見たいシーンや聴きたい位置で、リモコンの「A-Bリピート」ボタンを押し、画面上に「A-B」と表示させ、開始位置を設定します。
- 終了位置で、もう一度「A-Bリピート」ボタンを押すと、画面上に「A-B」と表示され、指定の範囲で繰り返し再生します。
- 「A-Bリピート」ボタンを押すと、設定範囲をキャンセルできます。また、停止ボタンを押したり、電源が切れると、設定範囲がクリアされます。

■ご注意ください

- 部分リピート再生は同一タイトル内で設定してください。
- 部分リピート再生はマルチアングル部分では使用できません。
- ディスクによっては操作制限があり、この操作ができない場合もあります。

●黄(ズーム)ボタン（リモコンのみ）

黄

ディスクの再生中にこのボタンを押すと、下記の順で画面を拡大、縮小します。

■ ディスク再生、動画ファイル再生の場合

【ズーム】 2× → 3× → 4× → 1/2 → 1/3 → 1/4 → 元のサイズ
↑

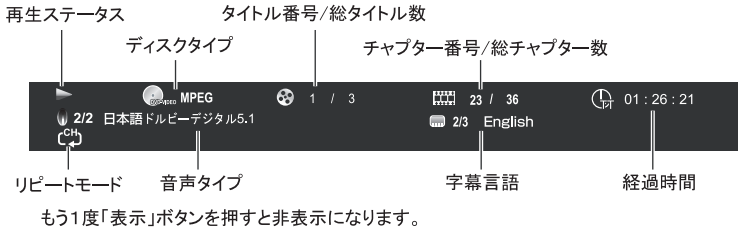
■ 静止画再生の場合

ズーム 100% → ズーム125% → ズーム150% → ズーム200% → ズーム75% → ズーム50%
↑

● 表示ボタン (リモコンのみ)

表示

再生中のディスク情報を画面上部に表示して確認できます。
再生中にリモコンの「表示」ボタンを押すと下のように画面に表示されます。



■ ご注意ください

- ディスクによっては、時間などが正常に表示されない場合があります。

● 字幕ボタン (リモコンのみ)

字幕

ディスクによっては字幕が記録されているものがあります。このボタンを押すことによって、字幕の選択をしたり、非表示にしたりします。(記録ディスク使用不可)

2/3 English

■ ご注意ください

- この機能はディスクに字幕情報が記録されていなければ使用できません。
- ディスクによっては、メニュー画面のみで設定可能な場合があります、再生中、この操作ができない場合があります。
- ディスクによっては、複数の言語が記録されている場合があります。

● 音声ボタン (リモコンのみ)

音声

ディスクによっては音声、サウンドトラックが複数のチャンネルで記録されているものがあります。このボタンを押すことによって、それらのチャンネルを切り替えることができます。

2/2 日本語ドルビー デジタル5.1

■ ご注意ください

- この機能はディスクに音声情報が記録されていなければ使用できません。
- ディスクによっては、メニュー画面のみで設定可能な場合があります、再生中、この操作ができない場合があります。

●赤(プログラム)ボタン (リモコンのみ)

赤

チャプターやトラックの再生をお好みの順序に設定し再生します。
このボタンを押すと下のよう画面に表示されます。



リモコンの「決定」ボタンを押します。



左のように表示が変わりますので、上/下ボタンで数字を、左/右ボタンでタイトル/チャプターの選択を行ってください。

リモコンの「決定」ボタンを押すと確定され、次のリストへカーソルが移動します。
「再生」ボタンを押すとプログラムリストに登録した順に再生されます。

●サーチボタン (リモコンのみ)

サーチ

ディスク再生中に、タイトル番号、チャプター番号、または時間を入力することによって、ご覧になりたい位置から再生することが可能です。
このボタンを押すと下のよう画面に表示されます。



上/下方向ボタンでタイトルとチャプターの再生時間を切替えることが可能です。



左/右方向ボタンでご覧になりたいタイトル番号、トラック番号、チャプター番号、時間のいずれかにカーソルを移動させます。

リモコンの「決定」ボタンを押します。例としてタイトル番号では、下のよう上/下方向ボタンや数字ボタンで番号や時間を入力し、「決定」ボタンを押すと、指定した場所から再生を開始します。



便利な再生機能

●ブックマーク機能

ご覧になりたい位置を登録して再生します。

「ブックマーク位置を登録する」

再生中に位置登録したい場面でリモコンの緑「ブックマーク1」ボタンを押します。
ボタンを押すと、下のように表示され、最大12地点の登録ができます。

ブックマーク: 1/12 タイトル: 1 チャプター: 18 時間: 00:57:02

再生中ブックマーク数/最大ブックマーク数

「ブックマーク位置を呼び出す」

再生中にリモコンの青「ブックマーク2」ボタンを押すと下のように表示されます。



再生中にリモコン「◀ ▶」カーソルボタンで再生したブックマーク番号を選択し、「決定」ボタンを押すと再生します。

削除するには「消去」ボタンを押します。

「ブックマーク1」ボタンを押すと、表示が消えます。

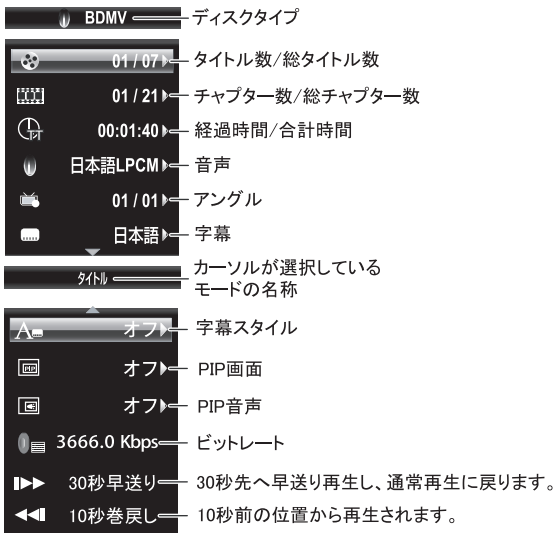
■ご注意ください

設定したブックマーク情報は、再生停止するとクリアされます。

●OSC(オンスクリーンコントロール)機能

再生中にリモコンの「サブメニュー」ボタンを押すと以下のように表示され、各機能が使用できます。

方向キーで選択して、決定ボタンを押します。

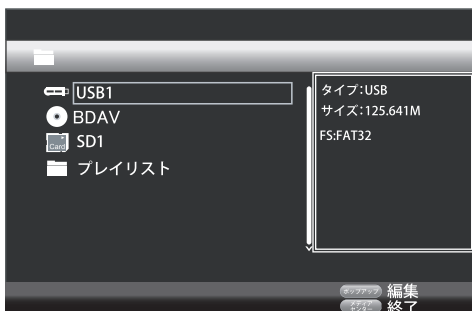


●メディアセンター

動画ファイル、音楽ファイル、画像ファイルを再生するメディアセンターの操作方法

メディアセンターを開く

USBメモリーやSDメモリーカード、データディスクを挿入し、「Blu-ray」ロゴ画面が表示されている状態で、リモコンの「メディアセンター」ボタンを押すと、下のよう画面が表示されます。



カーソルで選択されている項目の情報が表示されます。方向キーで選択して、決定ボタンを押します。

USB1・・・USBメモリーのデータを読み込みます。

BDAV・・・ディスクトレイに挿入されたディスクを読み込みます。

※記録ディスクのタイプに応じて表示されます。

SD1・・・SDメモリーカードのデータを読み込みます。

プレイリスト・・・プレイリスト登録されたファイルを表示します。

対応する形式であっても、すべてのファイル、すべてのメモリーカードの動作保証をするものではありません。

ディスクやメディアに記録されているファイル名は正常に表示されない場合があります。

●再生するファイルの種類を選択する

フォルダを開くと下のように表示されます。



方向キーで選択して、決定ボタンを押します。

①・・・アイテム番号/総アイテム番号を表示します。

②・・・現在のフォルダ階層を表示します。

③・・・1つ前の階層に戻ります。

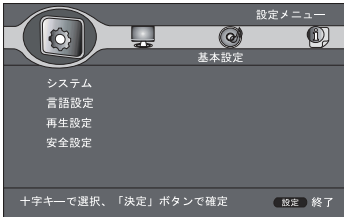
写真、音楽、動画、AVCHDはUSBやSDに記録されているフォルダではなく、記録されているファイルの種類を分類するために本機が自動で表示しています。

設定画面を使う

● 設定画面の基本操作方法

「設定」ボタンを押すと下記の画面が表示されます。

設定画面

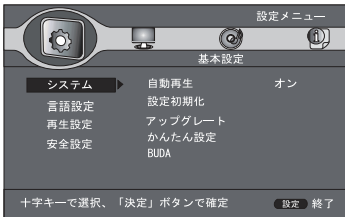


設定画面の基本操作方法

- リモコンの「▲ ▼ ◀ ▶」ボタンと数字ボタン、「決定」ボタンを使用します。
- 「◀ ▶」ボタンで設定項目を選択し、「▲ ▼」ボタンで各項目の内容の設定に移ります。
- 設定画面を終了するには「設定」ボタンを押します。

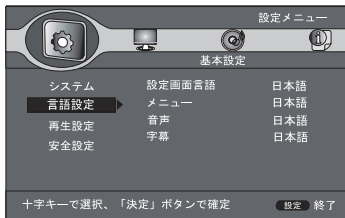
● 基本設定

システム



- 自動再生...ディスクの自動再生を設定します。
- 設定初期化...設定を工場出荷時へ戻します。
- アップグレード...管理用項目です。使用しないでください。
- かんたん設定...機器の初期設定をします。
- BUDA...「BUDA」フォルダ内のデータ消去や空き容量の確認が可能です。

言語設定



- 設定画面言語...設定画面の表示言語を設定します。
日本語、または英語(English)が選択できます。
- メニュー...メニューの言語を設定します。
ディスクによっては設定できる言語、できない言語があります。
詳しくはディスクの取扱説明書をご覧ください。
- 音声...音声の言語を設定します。
ディスクによっては設定ができない言語があります。
詳しくはご使用のディスクの取扱説明書をご覧ください。
- 字幕...字幕の言語を設定します。
ディスクによっては設定ができない言語があります。
詳しくはご使用のディスクの取扱説明書をご覧ください。

再生設定



■ アンゲル

アンゲル情報が書き込まれたメディアを再生したとき、画面に常にアンゲルマークを表示する設定です。
この設定でアンゲルマークを表示してなくても、アンゲル機能はご利用いただけます。

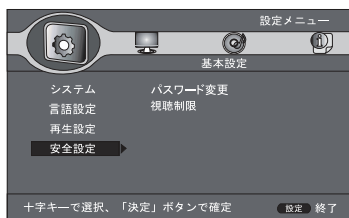
- PIP画面・・・副映像の映像情報が書き込まれたメディア再生時の画面表示設定。
- PIP音声・・・副映像の音声情報が書き込まれたメディア再生時の副音声設定。
- ラストメモリー機能（レジューム機能）
再生設定でラストメモリー をオンに設定してください。
DVDビデオ再生中に停止ボタンを一回押して、電源を切るとラストメモリー機能が有効になります。

■ ご注意ください

- 一部の市販のディスク、もしくはディスクの記録状態によってはラストメモリー機能が動作しない場合があります。
- プログラム再生中は働きません。

■ Audio Watermark Level3

安全設定



■ パスワード変更

「パスワード変更」を選択するとパスワード(暗証番号)設定画面に切り替わります。

パスワードを変更するときは「パスワード変更」を選択し、パスワード変更画面で4ケタの数字を入力します。

初期パスワードは「0000」です。
パスワードをお忘れになると、初期化しても元に戻らなくなりますので、絶対に忘れないようにご注意ください。

■ 視聴制限

暴力シーンなどお子様に適していないシーンを含むディスクにはパスワード機能によって視聴制限を設けているものもあります。視聴制限で視聴可能レベルを設定し、お子様に適さないシーンが含まれるディスクを再生できないようにします。

■ ご注意ください

- 視聴制限の設定は、視聴設定のあるディスクのみ有効となります。

● 映像設定

画面調整



■ アスペクト比

接続するテレビ画面の種類を設定します。

16:9(フル)・・・ワイドテレビにフルスクリーンでの映像出力モード。

※映し出される映像は、テレビのスクリーンモードに依存します。

16:9(ノーマル)・・・通常の映像出力モード。

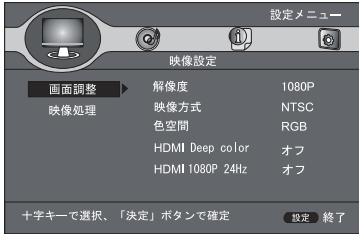
4:3PS(パンスキャン)・・・ワイド映像の左右をカットした映像出力モード。

4:3LB(レターボックス)・・・ワイド映像の上下に黒帯をつけての映像出力モード。

■ ご注意ください

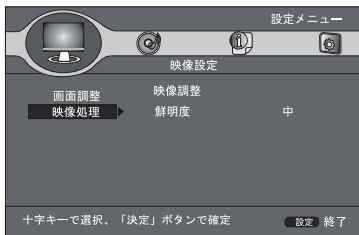
- 設定を変更する場合、必ず停止状態で行ってください。
- ディスクや記録状態によって、設定できない場合があります。

画面調整

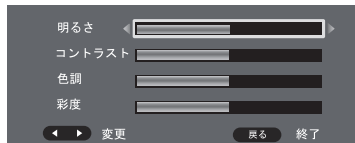


- 解像度・・・HDMI接続時の出力解像度を設定します。
- 映像出力設定・・・映像信号の出力方式を設定します。
※通常は「NTSC」が「自動」に設定してください。
- 色空間・・・色の表現方法を設定します。
※配色を設定しても、不自然な時には「RGB」を選択してください。
- HDMI Deep Color・・・Deep Color対応画面に出力する場合に設定します。
※30bitや36bit、48bitを選択して画面が乱れたり、色あいが不自然な場合は「オフ」を選択してください。
- HDMI 1080P 24Hz・・・1920×1080/24P対応画面とHDMI接続する場合に設定します。

映像処理



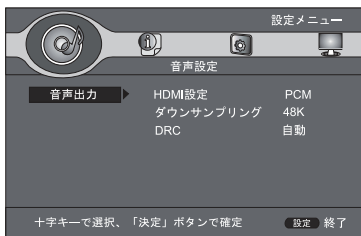
映像調整



- 明るさ・・・液晶パネルの明るさを設定します。
- コントラスト・・・液晶パネルのコントラストを設定します。
- 色調・・・液晶パネルの色調を設定します。
- 彩度・・・液晶パネルの彩度を設定します。
- 鮮明度・・・液晶パネルの鮮明度を設定します。
「高・中・低」から選択します。

● 音声設定

音声出力



- HDMI設定
ドルビーデジタルやDTSサラウンド対応のアンプにHDMIケーブルで接続した場合に使用できます。
ビットストリーム・・・オリジナルのビットストリーム信号を出力します。
PCM・・・すべての音声が入力されたPCMに変換され音声出力されます。
- ダウンサンプリング
HDMIケーブルでアンプと接続している場合に使用できます。
※サンプリングレートを設定するための機能で、48Kと96K、192Kから選択できます。
- DRC
音声ダイナミックレンジ(最大音量と最小音量の差)を圧縮し、小音量時でも音を聞き取りやすくします。
※本機能はドルビー音声再生時のみ効果があります。

● システム情報

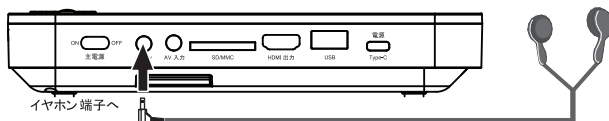


ソフトウェアバージョンが表示されます。

外部端子

イヤホン(別売)を使用する

- 接続方法 ミニピンプラグのイヤホンやヘッドホンに対応します。
※イヤホンまたはヘッドホンは別途ご購入ください。

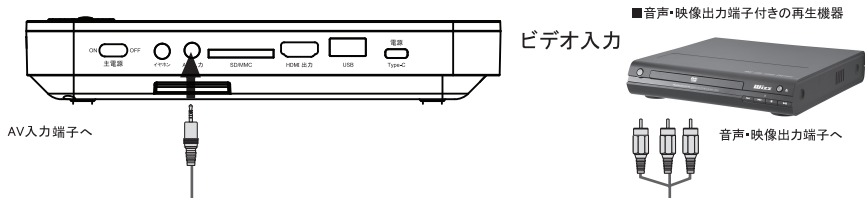


■ご注意ください

- ・お使いになる前に音量を最小にし、徐々に好みの音量に調整してください。
また大音量で長時間使用すると聴力に影響を及ぼす恐れがあります。

外部機器(AVケーブル)を接続する

- 接続方法 (AV入力) AVケーブルを使用して、本機をモニターとして使用できます。



※ AVケーブル(型番:AVC-CJ01)は、別売となっています。
お求めになる場合は、販売店または弊社サポートセンターにお問い合わせ下さい。

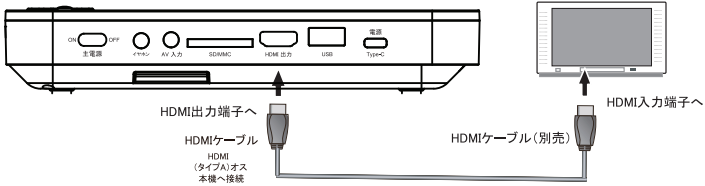
■ご注意ください

- ・BDディスクを再生すると、デジタル規制により、映像や音声を出力しません。

外部機器(HDMI 出力)を接続する

HDMIケーブルを使って、HDMI入力端子があるテレビに接続できます。1本のケーブルで音声と映像を劣化のないデジタル信号で出力します。HDMI接続するときは、接続する機器やテレビの取扱説明書をご覧ください。

●接続方法



接続をする機器によりコネクタの形状が異なりますので接続する機器に合わせて、HDMIケーブルや変換アダプタを準備してください。

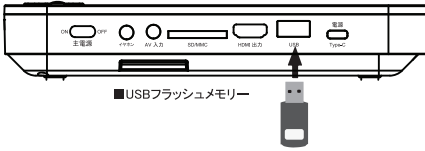
■ご注意ください

- ・テレビと接続する際は、必ず本製品とテレビなどの電源を切ってから行ってください。また接続する機器の取扱説明書をご確認ください。
- ・HDMIケーブルは販売店にて、ご購入ください。本機に対する接続はType-Aオスの仕様になります。

外部機器(USB)を接続する

USB端子を使用して、USBフラッシュメモリーから音声・画像・動画を再生することができます。

●接続方法



■USBフラッシュメモリー

■USBフラッシュメモリーからの再生に切り替える

- 1.USBフラッシュメモリーを差し込みます。
- 2.BDモード時から、リモコンの「メディアセンター」ボタンを押し、USBに切り替えます。

■USBフラッシュメモリーを取り外す場合は、読み込みをしていない時に抜いて下さい。

●MP3ファイル再生中の場合

「停止」ボタンを押して、再生を停止させてからUSBフラッシュメモリーを取り外します。

●JPEGファイル再生中の場合

「メニュー」ボタンを押して、ファイル一覧画面にしてからUSBフラッシュメモリーを取り外します。

●MPEG4ファイル再生中の場合

「メニュー」ボタンを押して、ファイル一覧画面にしてからUSBフラッシュメモリーを取り外します。

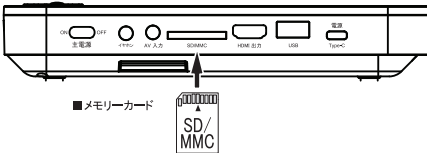
■ご注意ください

- ・USBフラッシュメモリーにアクセスしているときは、取り外しを行わないでください。データが破壊されるおそれがあります。
- ・本機に搭載されているUSBポートは、USBフラッシュメモリーのみ対応します。他の機器を接続すると本機や外部機器の故障の原因となりますので、絶対に接続しないでください。
- ・USBフラッシュメモリーによっては対応しないものもあります。
- ・再生方法についてはP.19をご覧ください。
- ・ファイル作成方法などによっては再生が出来ない場合があります。

外部機器(SD/MMCスロット)を接続する

SD/MMCスロットを使用して、SD/MMC（以下、メモリーカード）から音声・画像・動画を再生することができます。

●接続方法



■メモリーカード

■メモリーカードからの再生に切り替える

- 1.メモリーカードを差し込みます。
2. BDモード時から、リモコンの「メディアセンター」ボタンを押し、カードに切り替えます。

■メモリーカードを取り外す場合は、読み込みをしていない時に抜いて下さい。

●MP3ファイル再生中の場合

「停止」ボタンを押して、再生を停止させてからメモリーカードを取り外します。

●JPEGファイル再生中の場合

「メニュー」ボタンを押して、ファイル一覧画面にしてからメモリーカードを取り外します。

●MPEG4ファイル再生中の場合

「メニュー」ボタンを押して、ファイル一覧画面にしてからメモリーカードを取り外します。

■ご注意下さい

- ・メモリーカードにアクセスしているときは、取り外しを行わないでください。データが破壊されるおそれがあります。
- ・本機に搭載されているSD端子は、メモリーカードのみ対応します。他の機器を接続すると本機や外部機器の故障の原因となりますので、絶対に接続しないでください。
- ・メモリーカードによっては対応しないものもあります。
- ・再生方法についてはP.19をご覧ください。
- ・ファイル作成方法などによっては再生が出来ない場合があります。

その他

主な仕様

商 品 名	10.1インチポータブルブルーレイディスク™/DVDプレーヤー
パ ネ ル サ イ ズ	10.1インチワイド
液 晶 解 像 度	1024X600ピクセル
電 源 定 格	PowerDelivery(PD)20W (12V/1.67A)
A C ア ダ プ タ	AC100V 50/60Hz ※国内専用製品です、海外での使用はできません。
カ ー ア ダ プ タ	DC 12V/1.67A ※24V車不可
許 容 動 作 温 度	5°C~35°C
映 像 信 号 方 式	NTSC/PAL/自動
バ ッ テ リ ー	リチウムイオン
消 費 電 力	17W(最大)
外 形 寸 法	255(W)X200(H)X50(D)mm(最大突起部を含む)
本 体 質 量	約1300g(バッテリー含む)
搭 載 端 子	USBポートX1、メディアスロットX1、3.5mmフォンジャックX1 HDMI(1.4)出力端子X1、電源入力Type-C端子X1、AV入力端子X1※1
ス ピ ー カ ー	2CHステレオ(2WX2)
対 応 BD プ ロ フ ァ イ ル	1.1(BONUSVIEW)
連 続 再 生 時 間※2	DVD/ブルーレイディスク:4時間
充 電 時 間※2	約4~5時間
対 応 フ ォ ー マ ッ ト	BDMV/BD-RE/AVCHD(1.0)/AVCREC/DVD-VIDEO DVD-VR/CD-DA/MP3音声トラック、JPEG画像ファイル/MPEG4
対 応 デ ィ ス ク	BD-ROM/BD-R/BD-RE/DVD-ROM/DVD±R/DVD±RW/CD-ROM/CD-R/CD-RW

※1 音声入力は、本機の音量調整非対応です。

※2 連続再生時間および充電時間は、使用状況、使用環境により異なります。また、充電電池の経年劣化により、再生時間が短くなります。

※仕様および外観は改良のため予告なく変更場合があります。

長年ご使用の製品点検を

<p>このような事は ありませんか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。 ・電源コードを動かすと通電したり しなかったりする。 ・製品に触れるとビリビリと電気を感ずる。 ・その他の異常・故障がある。 	<p>ご使用を 中止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・故障や事故防止のため、スイッチを 切り、電源プラグを抜いて、必ず 販売店にご相談ください。
----------------------------	---	--------------------	--

故障かな？と思ったら

画面が白黒になる	・ 設定ボタンを押して、「基本設定」の「映像方式」が「自動」か「NTSC」になっているか確認してください。
電源が入らない	・ 正しく接続しているか、確認してください。
再生できない / 画面に表示されない	・ ディスクが中に入っているか確認してください。 ・ 機器が適切に接続されていることを確認してください。 ・ ディスクの汚れ、傷を確認してください。 ・ テレビの電源、映像入力モードが正しく設定されているか確認してください。 ・ パソコンやレコーダーで記録した記録型のディスクは再生できない場合があります。(→ 4ページ) ・ ディスクのリージョンコードが「ALL」または「2」か確認してください。 ・ 結露が考えられます。電源を入れた状態で、数時間待ってから再生してください。 ・ 本体が熱を持っている場合は、約30分程度時間を置いてからご使用ください。
画像が乱れる	・ ディスクが汚れたり、傷ついてないか確認してください。汚れているときはディスクを清掃してください。 ・ 本機が、ビデオレコーダーやケーブルテレビチューナーなどの映像入力端子に接続されていないか確認してください。これらの機器に接続されているとコピーガードが働き画像が乱れますので、本機をテレビに直接接続してください。
雑音や音声が乱れる	・ 機器が適切に接続されているか確認してください。 ・ 近くに強い磁気を持ってあるものは、離してお使いください。
画面にディスクに関するメッセージが表示される	・ 本機に対応しないディスクを再生しようとしていないか確認してください。 ・ パソコンやレコーダーで記録した記録型のディスクは再生できない場合があります。(→ 4ページ) ・ ディスクの汚れ、傷を確認してください。
音が出ない	・ 本機やテレビのボリューム(VOL)、消音機能を確認してください。 ・ 適切に接続されているか確認してください。 ・ 一時停止、早送り/早戻し、スロー、スキップ機能実行中は音声が出されません。
リモコンが機能しない	・ 電池の向きを確認してください。 ・ 電池が消耗している場合は交換してください。 ・ 本機とリモコンの間に障害物がある場合は、機能しません。
動画ファイル、音声ファイルが再生できない	・ 対応ファイル形式であっても再生できない場合はエンコードソフト及びエンコード方法を変えて試してください。対応するファイル形式やエンコード方法に関する詳細内容はサポートできない場合があります。
液晶画面に小さな点がある。	・ 液晶画面は精密な技術で製造されており、99.999%の有効画素が存在しています。ごくわずかな画素欠けや常に点灯する画素がある場合でも不良や故障ではございません。

お手入れについて

- レンズのクリーニング
レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びしたり、画像が乱れる場合があります。このような場合はご自分でクリーニングしないでください。故障の原因となります。
- 結露
結露が発生した場合、ディスクを本機に挿入すると、ピックアップレンズやディスクに水滴がつくことにより、ディスク信号が読み取れず正常に動作しないことがあります。本機はよく乾燥した状態でお使い下さい。結露が発生してしまった場合は、本体の電源を入れたまま、最低2時間は乾燥のために放置してください。
- 本体のお手入れ方法
柔らかい布で乾拭きをしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で5~6倍に薄めて布に浸し、よく絞った後に本体を拭きます。その後、必ず乾いた布で再度本体を拭いてください。アルコールやシンナー等が付着すると、印刷や塗装が剥がれる場合がありますのでご注意ください。お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本製品は光ピックアップを本体に収納しています。この部品は高温高湿環境にて保存すると、部品の寿命が短くなる場合がありますので、高温高湿環境での保存は避けてください。

製品の廃棄について

- 製品のご使用が終了し、製品を廃棄する場合は、燃えないゴミや資源ゴミ、粗大ゴミ、小型家電回収等 各自治体によって取り扱いが異なりますので、お住まいの自治体の指示に従ってください。

各種ライセンスについて

DVD Logo is a trademark of DVD Format / Logo Licensing Corporation.

The Blu-ray Disc™, Blu-ray™, BONUSVIEW™ word marks and logos are trademarks of the Blu-ray Disc Association.

Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby, Dolby Audio and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation.

For DTS patents, see <http://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS 2.0+Digital Out is a trademark of DTS, Inc. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

Java and all other Java trademarks and logo are registered trademarks of Oracle and/or its affiliates.

The terms HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interface, and the HDMI Logo are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing Administrator, Inc.

SDHC Logo is a trademark of SD-3C LLC.

Cinavia Notice

This product uses Cinavia technology to limit the use of unauthorized copies of some commercially-produced film and videos and their soundtracks. When a prohibited use of an unauthorized copy is detected, a message will be displayed and playback or copying will be interrupted.

If playback or copying is interrupted and one of the messages shown below is displayed, the content is an unauthorized copy protected by Cinavia technology.

<u>Message</u>	<u>Cinavia Message Code</u>
[Message(s) 1]	1
[Message(s) 2]	2
[Message(s) 3]	3
[Message(s) 4]	4

More information about Cinavia technology is provided at the Cinavia Online Consumer Information Center at <http://www.cinavia.com>. To request additional information about Cinavia by mail, send a postcard with your mailing address to: Cinavia Consumer information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA.

IPR Message

Copyright 2004-2013 Verance Corporation. Cinavia™ is a Verance Corporation trademark. Protected by U.S. Patent 7,369,677 and worldwide patents issued and pending under license from Verance Corporation. All right reserved.



リチウムイオンバッテリー内蔵製品の利用方法について



AC アダプタを製品に接続したままの状態で使用しないでください。

常時 AC アダプタを製品に接続したままの状態は充放電が繰り返され過充電の状態が長時間続くとバッテリーに負荷がかかり事故の原因となる場合があります。

長時間で使用の場合はバッテリー充電スイッチを OFF にしてください。

ご使用にならないときは必ず AC アダプタを抜いて保管してください。



バッテリー残量が空の状態保管しないでください。

長期間にわたり使用しないと自然放電により過放電状態となりバッテリー機能が低下します。

長期間で使用しない場合でも 3 ヶ月に 1 度は充電することをお勧めします。



過充電や過放電はバッテリーの劣化を早めます。

通常は制御回路や保護回路により過充電や過放電を回避していますが、長時間にわたり繰り返されるとバッテリーの劣化が促進され、使用時間が短くなるなど機能が低下したり、バッテリー内部の電解液が気化して膨張の原因となる場合があります。

◆ バッテリーが膨張してしまった製品の取り扱いについて。

バッテリーが膨張すると製品を圧迫したり破損につながる場合があります。

膨張によりバッテリーが破損すると可燃性の気体が噴き出したり、引火や爆発の危険がありますので取扱には充分ご注意ください。

- ・バッテリーの膨張が確認されたら AC アダプタなどの電源を外し、電源スイッチをオフしてすぐに使用を中止してください。
- ・分解してバッテリーを取り外さないでください。
- ・熱器具や火器、直射日光などの温度が高くなるところに近づけないでください。
- ・刃物で刺したりキズを付けたりしないでください。
- ・一時的に保管するときはビニール袋に入れ外気に触れないよう密閉してください。
- ・処分する場合は小型家電リサイクル法により各自自治体により取扱が異なります。お住まいの自治体の指示に従ってください。

◆ バッテリー充電スイッチのご利用をお勧めします。

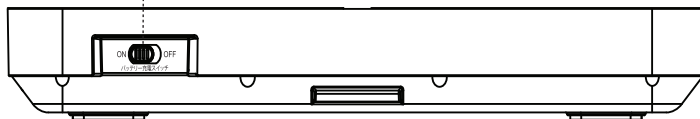


バッテリー充電スイッチ

内蔵バッテリーに対して充電動作を設定をします。

ON…充電する。

OFF…充電しない。



長時間 AC アダプタを差したまま使用する場合はバッテリー充電スイッチを OFF にしてください。

バッテリーへの通電が OFF となり過充電を防ぐことができます。

バッテリー充電スイッチについて

- ・工場出荷時は OFF になっています。バッテリーを充電する際は ON にしてください。
- ・業務用途など AC アダプタを接続したままご使用する場合は、必ずバッテリー充電スイッチを OFF にしてください。

M's CORTE

© 2023 DAINICHI ELECTRONICS CO.,LTD.

V2315